

大切な人の命終も、お浄土に往生されたといいただければ、寂しくはない

あなたの「生きる」を支えるお寺

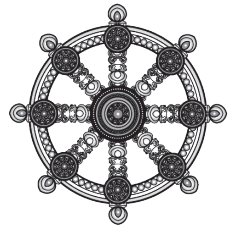
毎月 25 日発行 しょう しき しょう こう

お寺のかわら版

じゅんしょうじほう

純正寺報

青色青光 No.349



発行責任者：浄土真宗本願寺派 護法山 純正寺 住職 釋 覚恵（漢見覚恵）

〒 522-0075 滋賀県彦根市佐和町 3-29 TEL (0749)-22-7888 FAX (0749)-47-4829

メールアドレス :purity.temple.since1499@gmail.com

※この紋章は「法輪」といい、車の輪が回り続けるように未来に向かって永遠に弘められていく仏教を象徴した、世界中の仏教徒共通のシンボルです。

6月24日(火)

10:00~12:00

13:30~15:30

こんき

常例布教

北浦思朗師

彦根市新海町光嚴寺

法話

青峰明誓師

ご法話（愛荘町願正寺）

組根彦 特別布教

親鸞聖人讃仰

会場得法寺（平田）

午前十時から正午まで

六月十四日（土）

YouTube 純正寺チャンネル



LINE 純正寺公式アカウント



純正寺公式ホームページ



facebook 常朝事チャンネル



純正寺の法要は「YouTube」で、常朝事は「facebooklive」で、それぞれ生配信でも録画でもご参拝・お聴聞いただけます。

住職法話

われかくのごとくきく
我聞如星

遠く出遇いの宿縁をよるこぶ④

私が何故、お念仏に生きるようになったのか

父さんありがとう

「もう、私のいのちは阿弥陀様に全部任せてある。だからもうこれ以上何もしなくても良い。ただ、そばにいてくれさえすればそれで良い」

正直、父のその言葉が止血を受けない理由だとは理解できませんでしたが、その何とも言えない語気に押し切られて、止血を断念し輸血をすることになりました。しかし、その輸血にはさほどの効果はなく、やがて父は意識を失い、翌る日のちようどお昼、家族が見守る中、最後の息を引き

とったのです。

ところが、その時私の口から予期しない言葉が出てきました。それは「父さんありがとう」という言葉でした。心の中では「まだ早い、もう一度息を吹き返してほしい」と思っているはずなのに、なぜか私は「ありがとう」と言っているのです。その時の私は、自分自身の言葉でありながらその言葉の意味が全く分かりませんでした。

それがわかったのは通夜の時でした。お正信偈のお勤めの後の通夜法話は、私の大学・大学院の指導教授

である普賢晃寿和上でした。和上は、ご自身が先代の和上であるご尊父様のご往生の時を振り返りこのようにお話くださったのです。

悲しくはあれど

寂しくはない

「どれだけ歳を重ねても、親の看取りは涙無くしてはいられませんでした。しかし、それは悲しくはあれど

寂しくはありませんでした。なぜなら、お念仏に生きた人の終わりは死ではなく、お浄土に往生されるのだから。どこに行ったのかがわからないと寂しくもなるけれど、お浄土に往生されたことがわかってるのだから寂しくはないのです」と。

「悲しくはあれど寂しくは

ない」、この言葉が聞こえた瞬間、私はまるで頭を殴られたような衝撃と共に、涙がとめどもなく溢れてきたのです。しかし、その涙は悲しみの涙ではありませんでした。それは、安堵と喜びの涙だったのです。では、それは何に対する安堵と喜びだったのでしょうか。

それは、なぜ臨終の時に思わず「父さんありがとう」と言ったのかの理由がわかった安堵と喜び。そしてそれは同時に、臨終の前日に父が口にした言葉の意味がわかった安堵と喜びでした。父はあの時あの言葉を通して「私のいのちは死にゆくいのちではない。お浄土に生まれゆくいのちなの

だ。だから、それをよく見ておきなさい。そして、お以前のいのちもまたお浄土に生まれゆく命なのだよ」という意味だったのです。

つまり、父は自身のいのちの行方を示すことによつて、後に残す私たちのいのちの確かな行方をも教えてくれたのでした。だから、私は父の臨終に「父さん、僕のいのちの行方がお浄土にあること。僕はお浄土に向かつて今生かされているのだということを教えてくれてありがとう」と言ったのだと知らされたのです。父の臨終前後の出来事、それは私が念仏者として生きていく上で、最も大切なことを教わり学んだ貴重な時間だったのです。

これでもかの「催促」

さて、父の往生ののちしばらくして、母と話したことがありました。それは、母と私の共通の後悔でもありました。というのも、父は命の最後を自宅で迎えたいと切望したのですが、医師からそれは難しいと言われて叶えてあげられず、結果病院の病室で臨終を迎えたのです。なので、母は私に「私がいのち終わる時は、絶対に自宅でそれを迎えられるようにしてね」と話したのです。しかし、私はそう母から聞きながら「それは随分先のことだろうな」とうかつにも思っていました。なぜなら、その時母はとても元気だったからです。

ところが、父の七回忌を終えた半年後の平成九年の秋、母が突然激しい背中の痛みを訴えました。ちょうどその直後、毎年受診していた市民健康診断の結果が、通常ならば郵送されてくるにも関わらず、保健師さんが胸のレントゲン写真と共に我が家へ届けに來られました。そして「今すぐにこのレントゲン写真を持って呼吸器科の専門医を受診してください」とおっしゃったのです。

慌てて母を連れて地元の総合病院を受信すると、診察結果は告げられずに滋賀県内で最も大きな総合病院を紹介されました。不安な気持ちを抱えて紹介された病院を受診すると、医師は

「肺に腫瘍が見られます。今すぐ入院して、手術の準備をしましょう」とおっしゃったのです。

よくご法話で、人生には三つの坂があつて、一つ目は上り坂、二つ目は下り坂、そして三つ目は「まさか」だとお聴聞させてただいていましたが、その時の私は正しく「まさか」という気持ちでした。そして、母を想う一人の息子として、ただ手術の成功を願うばかりの私でした。

そのまま母は入院し、すぐに手術に向けての精密検査が始まりました。そして、一週間ほどしてその結果が出ると、病院で本人と家族が一緒に説明を聞くことになりました。 次号に続く



6月の皆の宗サンガ

サンガ(僧伽)とは、利害関係を超えた、互いに支え合う、安心できる本当の人のつながり「お念仏の家族」をあらわしています。純正寺のすべての活動は、あなたにも仏縁が整って、まことの同朋(とも)の出会いが広がっていくことを願い、運営されています。



キッズサンガ「ほとけの子ども会」

21日(土)・28日(土)
10:00~12:00

就学前・小・中学生対象

「らいはいのうた」のお勤めと住職による仏典童話の読み聞かせ。おやつやフリータイムもあります。

ゆっくり学ぼう家「寺子屋」

22日(日)
16:00~18:00

小学生・中学生対象

教科書に沿った問題集や宿題、自主勉や読書に取り組みます。休憩時には、おやつもあり。

みんなの食堂ビハーラ

12日(木)・26日(木)
17:00~19:00

年齢・性別は問いません

子どもからお年寄りまで、誰でも参加できる楽しい食事と学習の時間。事前にお申し込みください。

世のなか安穏なれ「ビハーラ彦根」

8日(日)
18:00~20:00

年齢・性別は問いません

参拝者の提起や質問を手がかりに、車座になって聴き合いながら、ビハーラの心を学びます。

ヨガ風ストレッチ「びはーら体操」

3日(火)・10日(火)・17日(火)
10:20~11:30

年齢・性別は問いません

お香とオルゴールの音色の中でのヨガ風ストレッチで、強くて柔らかな身体と心を作りましょう。

「月例法話座談会」

17日(火)
14:00~16:00

年齢・性別は問いません

日常の「何故？」を通して、お念仏に生きる尊さと確かさを座談会形式で感じ学びます。

住職が聴きます「よろず相談」

随時、年齢性別は問いません
生きることが辛くなる前に、早めに気軽にご相談下さい。

相談予約専用電話番号は、
090-7874-2849
相談予約専用メールアドレスは
namo-yorozu@docomo.ne.jp

みんな法友こんき常例布教

24日(火)
10:00~12:00.13:30~15:30
年齢・性別などは問いません

所属寺の枠を超えた気楽なご法座です。ご法話は、新海町光嚴寺の北浦思朗師です。

清々しい朝のおつとめ「常朝事」

年中毎朝 6:00~6:50
年齢・性別など問いません

『正信念仏偈』と『和讃』の繰り読み。『御文章』の拝読と住職の法話があります。Facebookでライブ配信もしています。

門徒会からのお願い

お願い

六月は、純正寺門徒会の会費の納入月となっています。

一括納入の方も、各区の地区委員さんや住職がお預かりに上がりますので、速やかな納入にご協力のほど、よろしく願いいたします。

また、遠方のご門徒さんには、振り込み用紙を寺報と共にお届けいたしますので、お近くの郵便局でお振り込みくださいますよう、よろしくお願いいたします。

今月のエコキャップ一、六八八、七四八個

五月は、初旬までは暖房を入れていましたが、下旬には冷房が必要に衣替えに迷います。今月は、五九八〇個のキャップをお預かりいたしました。